

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・医者から「あと1週間くらい」と言われて、相談に来た人が、かなりの数に上っている。今後、依頼につながっていくのではないかと。また、墓じまいや仏壇処分なども増えている。
		百貨店（総務担当）	・ギフト受注の際に客との会話で、「冬のボーナスが多少期待ができる、来年のペースアップの話が出ている」という声が聞こえてきているので、多少良くなるのではないかと。
		乗用車販売店（経営者）	・地元の自動車部品関連や光学関係企業は、景気が良いようで、個人消費の増加に結び付けば、やや良くなる。
		自動車部品販売店（経営者）	・買換え需要は旺盛で、節約志向はやや控え目な客が増えている。
		一般レストラン（経営者）	・来客数、売上共に減少しているが、客単価は現状維持であり、多少期待する。
		一般レストラン（経営者）	・今月から発売した新作メニューが、民放テレビで紹介されたことや、近隣にオープンした温泉施設の客の当店への流れを期待する。
		スナック（経営者）	・求人が良く、仕事をしている人が増えているので、宴会が多く、忘年会の動きも良い。ここ10年くらいで、一番良いほどである。全体的に上向いている。
		スナック（経営者）	・忘年会シーズンに入り、団体客で単価上昇するケースも増えるため、多少、売上につながる。既に予約も入っているもので、11～1月に期待したい。
		観光型ホテル（支配人）	・インターネット予約にシフトしてきたため、宿泊間際の予約が増加する傾向が強くなってきている。先が読めないが、宿泊予約は堅調で、宴会部門も悪くない。
		遊園地（職員）	・新規施設や冬季スケート場の営業、イベント実施等により、今後も多数の来園客を期待する。
		美容室（経営者）	・師走に向かって、美容院は最繁忙月となるため、現状、少しずつ予約が入っている。
		設計事務所（経営者）	・仕事量に作業が追い付かず、3か月先の依頼も入ってきている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・商品の動きは、買換え需要のみである。商品単価の下落もあり、動きがイコール売上増には至らず、家電販売には厳しい状況が続いている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・客の購買意欲が盛り上がらない。
		百貨店（営業担当）	・株価は安定しているが、燃料、ガソリン価格等が上がっている。この先大きく後退するような様子もない。
		百貨店（売場担当）	・客が継続して来店することは、景気が大幅に回復するか安定しない限り、難しい。また、客の高齢化も進み、若年層の客が増えることがあっても、一時的である。一方、良い物を求める客がいることも事実だが、何に価値を求めるかが変わりつつある今日、やはりこれ以上の景気回復は見込めない。
		百貨店（店長）	・主力の衣料品は天候不順の影響が大きい。食料品売場だけは好調である。食品のような必需品以外の動きは良くない。
		スーパー（経営者）	・クリスマス、年末年始などのハレの日は、単価の高い物も売れるが、イクラなど季節商材の高値が心配である。
		スーパー（経営者）	・現状の変化は期待できない。
		スーパー（企画担当）	・数年後の消費税増税の予定や各種料金値上げによる可処分所得の減少に伴い、消費マインドは冷えている。
	コンビニ（経営者）	・歳末商戦を過ぎると、1～2月は、特に良い販売材料はない。2月の恵方巻きセールなどもあるが、全体では、それほど売上が期待できる月ではないので、良く見積もって、今月並みである。	
	コンビニ（店長）	・季節的な変化はあるが、特別変わっていく要件はないので、変わらない。	
	家電量販店（店長）	・年間を通じて、来客数が減少している。	
	乗用車販売店（経営者）	・自動車メーカーの不正検査問題の影響がしばらく続き、新車販売は伸び悩むと予想する。	
	乗用車販売店（経営者）	・客の購買意欲の向上がみられない。モーターショーにも期待していた影響は、ほとんどない。	
	乗用車販売店（管理担当）	・ユーザーニーズに合った車両提供ができず、低迷が続く。さらに、人材不足で補充ができないため、労務改善が進まない。	
	観光型旅館（経営者）	・忘年会シーズンに入るが、以前は12月第3週目まで混雑していたところ、今年は前半第2週の週末に予約が集中していて、その他は少ない。また、その後は、年末年始の12月29日から1月2日に集中しており、それ以外の日は良くない。	

	タクシー運転手	・直近の6か月をみると、前年を上回った月はない。6月は97%、7月96%、8月95%、9月93%、10月96%となっており、今月もおそらく95%ぐらいで落ち着く状況であり、今後もこの水準が見込まれる。
	通信会社（経営者）	・年末年始の商戦やインターネットテレビの特別番組の波及効果に期待はしているものの、あまり良い材料は見当たらない。
	ゴルフ場（経営者）	・年末の予約も順調である。以前のような大規模な忘年コンペは多くはないが、プライベートの2～3組での予約は安定して入っている。
	住宅販売会社（従業員）	・別荘オーナーの高齢化が進んでおり、利用率は低下している。
	商店街（代表者）	・全ての商品の仕入単価が上がってきているが、実際に売るとなると、今までより景気が良いというわけでもないの、客は必要な物以外の余分な物は買わない。今後は厳しくなるのではないが。
	商店街（代表者）	・大河ドラマ終了から1年を迎え、余韻もなくなりつつある。
	スーパー（経営者）	・冬は来客数、イベント関係共に減少するため、やや悪くなる。
	スーパー（副店長）	・降雪が多い地域のため、冬は灯油などの暖房代や、スタッドレスタイヤなどにお金がかかり、どうしても節約傾向が強まる季節である。
	コンビニ（エリア担当）	・人員不足に拍車が掛かり、更に2極化が進んでいく。
	一般レストラン（経営者）	・良くなる要素が見つからない。この業界、新店は出店するものの、客がそちらに動くだけで、全体では低迷している。新たな店が増えた分、既存店が無理をして閉店してしまう傾向もある。
	都市型ホテル（支配人）	・当地のホテル需要は例年同様、12～3月が閑散期となる。降雪、積雪など悪天候による客足の低下も懸念される。
	都市型ホテル（スタッフ）	・当地の冬のボーナス指数が低下しているため、消費者がお金を使うこと、ぜいたくをやめようというマインドになっており、来客数が減りそうである。
	旅行代理店（副支店長）	・荒天による農家の減収、大手企業の不祥事による下請業者の減収減益などで、今後、旅行業界は低迷しそうである。海外のみならず国内出張も減少傾向である。年末年始に向けての動きが鈍く、冬季受注も落ち込んでいるため、やや悪くなる。
	その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	・旅行シーズンが終わるため、やや悪くなる。
	× 衣料品専門店（経営者）	・例年1～2月は客足が遠のき、需要が減る。
	× スナック（経営者）	・悪くなるとしているのは極端な回答であるものの、良くなる要素が全く見当たらない。
	× 都市型ホテル（スタッフ）	・今後の予約状況も、現状と変わらず厳しく推移している。衆議院選挙が終わり、フリー客は少し回復傾向にあるものの、基盤となる予約状況の悪さを補える見込みは到底ない。
企業 動向 関連 (甲信越)		-
	食料品製造業（営業統括）	・最近、若手のワイン製造者が増え、インターネット等での販売促進を積極的に行っており、今後ますます業界の活性化が期待できる。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・リニア中央新幹線関連の仕事が来年あたりから出てくるということで、上向きになるのではないが。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・クリスマス関連商材や体験イベントの動きが、期待される。
	一般機械器具製造業（経営者）	・国内受注、海外需要共に、大きな変動の見込みがない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・当面は安定した状況が続く。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注量は徐々に増えてきているが、大きな伸びは期待できない。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・ボーナス前で、個人向けの展示会売上は増加しているものの、この時期が終わればまた、停滞となる。問屋が仕入れを極端に抑えて、在庫調整をしていることが問題である。
	金融業（調査担当） 金融業（経営企画担当）	・製造業の景況感が高水準のまま、しばらく続く。 ・直近の企業業績の好決算を背景に、株式市場は、バブル期以来の高値更新をしている。上場企業は好調を維持するだろうが、中小企業への波及には時間が掛かり、全体の底上げにはまだ至らないと考える。

	新聞販売店〔広告〕 (総務担当)	・従業員への冬のボーナスは、夏に引き続いて、前期比マイナス支給を決めている。
	食料品製造業(総務担当)	・年末商戦が終わり、客の購買意欲は下がる。また、個人所得が上がらないなかで、消費の拡大は難しい。
	食料品製造業(製造担当)	・景気が悪く、E L P (エブリデイロープライス)を打ち出し販売しているものの、消費者は半値の物を買求めるため、メーカー希望価格に到底追い付かない。利益が出るとは考えられない。
	建設業(経営者)	・冬季に向かうと、受注市場も小さくなり、客も必要最低限の工事しか発注しない。受注残がやや増加傾向にある。
	x 出版・印刷・同関連産業(経営者)	・売上は伸びず、資金繰りも大変である。
雇用 関連	職業安定所(職員)	・半導体需要の拡大を受けて、半導体関連製造業は依然として好調を維持している。当面は、現状が続くと見込まれる。
(甲信越)	人材派遣会社(営業担当)	・依然として、消費者の消費意欲は湧かず、買物をしない状況が続く。
	求人情報誌製作会社 (経営者)	・ここにきて、製造業の正社員募集を求人誌に掲載する企業が増えている。全般的には、これから来月まではパート、アルバイトの募集が多くなる時期である。
	職業安定所(職員)	・小規模店の企業整理が複数あったため、事業主都合離職者が増加し、自己都合離職者も増加しているため、求職者は全数で、前年比2.4%の増加である。一方、求人も活発な状況が続いており、人手不足の解消には至らない。
	職業安定所(職員)	・新規求職、有効求職共に、前月よりも減少幅が縮小している。一方、新規求人、有効求人は増加幅が上昇し、有効求人倍率は、1.49倍となり、前月よりも0.06ポイント上昇したが、大幅な改善は見込めない。
	民間職業紹介機関(経営者)	・相変わらず、求人は多い状況が続くものの、正社員求人は少ない。また、採用レベルを下げないため、未充足が続き、有効求人倍率の高止まりの原因となっている。
	-	-
	x -	-